

本日、日立北高校生が山梨県河口湖での
フィリピン短期留学から無事帰ってきました。

Practically the Philippines

フィリピン 国内留学

We are tough,
challenging what the future holds.

容赦ない英語圏で、圧倒的な量で英語を話した。



最初は不安しかなかったかな。それともわくわく感が勝っていたのかな。

このキャンプで得たものは、英語で生活し、英語で考える経験ですね。極度の疲労感で寝ている間の夢も英語でしたでしょうか。

いずれにしても、この富士の絶景の前で、贅沢な時間を過ごすことができました。

この企画は保護者の方々のご理解と、やってみようという本人の積極的な姿勢があったことから実現できました。有り難うございます。



人生を大きく変えるチャンスを良い時期にそして良い場所で迎えることができました。

約4時間を1日に2セット、休憩無しで1日に8時間英語を話し続けました。生活が全部英語で、一瞬日本語を忘れてしまったでしょう。

人間は生まれもった才能だけで人生が決まっていくわけではない。日々考え行動し経験したことがあなたをつくりあげます。24時間英語漬けの生活に本当によく耐えたと思いますし、さすが日北生、芯がありますね。ここまで容赦ない環境で英語を話し続けたのですから、今ごろは、頭痛のような、脳が痺れる感じがしているに違いありません。

そしてそれは、英語脳が活性化されている証拠です。この後に喋れる感覚が一気に上がります。そんな厳しい今回、河口湖の英語しか通じない場所でやりきったあなたは、英語の核心に迫れたはずですよ。苦しい経験だと分かって参加したのは、それが自分の成長につながることを知っているからでしょう。そういう姿勢で今後も生活するのなら、英検2級も準1級も目の前ですね。

今回の参加は少数精鋭でした。前向きな姿勢ですから、逃げもせず引率の先生との会話もほぼ英語で通しました。そして本校エース引率者の人見広章先生は、NZへの約1年間の留学経験も有り、参加者の生活と授業を英語で支援し続けていただきました。皆さんは安心して過

ごせたのではないのでしょうか。

今後も、日北生には、学校の様々な企画に自分を投入し、体験を多く重ねていただきたい。そしてその体験の意味を深く問いながら、自分を成長させましょう。無事全員が学校に戻ってきたのは午後6時50分でした。お疲れさまでした。ドライバーさんも往復の安全運転ありがとうございました。

日立北到着時にバスから降りて、生徒たちの発した最初のひとこと(感想)を紹介します。

「学校のネイティブの先生の英語の話し方がきれいだった。」「自分の知っている単語を言ってみたら意外と伝わったので、もっと単語を覚えて伝えられるようにしたい。」「英語を話す力が英語力の基本にあるのだと確信しました。」「英語の上達のためには話すことが大事だと思っていた、だから今回のキャンプは充実していた。」「楽しかったです。英語を喋れます。」「Very Good.」「英語が上達した。」「とても楽しかったです。力が付きました。マンツーマンでした。コスパいいです。」「英語の力がついた。」「楽しかった。」

頭の中で英語を作る習慣を作っていこう。楽しく学んで、英検受けて、憧れの大学合格に近づこう。君たちが英語の日立北を創りあげる1人1人になります。

Hiroaki HITOMI

